

別紙: 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第5章1(4)に基づく公開情報
URL:

研究機関名：東北医科薬科大学医学部

| |
|--|
| 受付番号：2019-6 |
| 研究課題名 岩手県大迫町における家庭血圧、24時間自由行動下血圧に基づく疫学的研究 |
| 研究期間 西暦 2016年6月29日～2023年3月31日 |
| 対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input checked="" type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（尿検体、および現在までに収集された既存資料・臨床データ） 上記材料の採取期間 西暦 1986年1月～西暦 2018年6月 |
| 意義、目的 家庭血圧や24時間自由行動下血圧の値が高くなるほど、将来の脳卒中、心臓病などの循環器病が発症する可能性が高くなることがわかっています。本研究では、これらの血圧情報と、他の生体情報を組み合わせることによって、長期的に循環器病の発症を、一層正確に予測できるかどうか調べることを目的としています。本研究によって、家庭血圧、24時間自由行動下血圧の測定が住民の健康管理に役立ち、人々が今までよりも循環器病にかからず健康で長生きできることが期待されます。 |
| 方法 (1) 研究の種類 前向き観察研究 (2) 調査方法 対象は岩手県花巻市大迫町の7歳以上の全住民のうち、研究参加に同意し、これまでに家庭血圧をはじめとする血圧・循環器疾患情報や、血液・尿検査データ、臨床検査データなどを提供していただいた約4000名の方々です。主たる研究機関である東北大学よりこれらデータの提供を受け、血圧と他の情報の組み合わせで循環器病の発症をどの程度正確に予測できるか、さらに現在まだ知られていない循環器病につながり得る未知の病態があるかどうかを分析します。なお、本研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り行われる疫学研究です。個人データは、個人情報に係るデータ管理責任者に留め置き、プライバシーを確保するとともに厳重に個人情報管理を行います。それ以外のデータはすべて匿名化され、個人が特定されない形で取り扱われます。また、本研究機関で、本研究に関わる血液・尿検体が保管されますが、これらは各種検診における採血検査時に生じた余剰血液・血漿・尿として収集されています。 (3) 評価内容 頭部MRI撮像、頸動脈エコー測定結果などの住民の観察・追跡データに基づき、血圧値や他のリスク因子と予後との関係、血圧情報同士の予後予測能の比較、それらの交互作用などを検討する。 (4) 調査項目 血圧情報、生活習慣情報、服薬情報、血液・尿検査データ（血液像、脂質、電解質、尿蛋白など）、臨床検査データ、予後データ（死亡情報、脳卒中発症情報など） |

(5) 共同研究機関

帝京大学 (主たる研究機関)、東北大学、京都光華女子大学、山形大学、滋賀医科大学、岩手医科大学、日本医科大学、佐賀大学、昭和薬科大学

問い合わせ・苦情等の窓口

氏名・職名: 目時 弘仁・教授

佐藤 倫広・助教

所属: 東北医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室

住所: 〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区福室 1-15-1

電話番号: 022-290-8727 (Fax: 022-290-8728)